

女性は薄毛・育毛を意識しているのか?! 徹底調査

女性の薄毛に関する調査報告

**20代～30代は抜け毛が悩み
55歳以上は髪のボリュームを意識**

株式会社ハーバー研究所(所在地:東京都千代田区)は、『女性の薄毛に関する調査』を全国の20歳以上の女性(1030名)を対象にインターネットによる調査を実施いたしました。

【調査概要】

調査対象: 全国の20歳以上の女性個人

回収数: 1030名 (n=1030)

調査方法: インターネット調査

調査期間: 2013年11月19日(火)～20日(水)

* (20～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳、45～49歳、55～59歳)各103サンプル、
(60歳以上)206サンプル。 合計1030

女性の薄毛・育毛に関する意識は年々増加しています。

現在、育毛剤は男性だけのものではなく、女性用の育毛剤が次々に発売され、注目を浴びています。ハーバーでは、女性のための育毛剤 薬用「麗豊(れいほう)」(医薬部外品)を発売するにあたり女性の命とも言われる髪(主に薄毛に関する)調査アンケートを実施いたしました。

《調査結果》

■ 女性はいつから薄毛を意識するのか？

Answer→薄毛に悩みを持つ女性は、20代前半で64.1%、60歳以上70.9%にのぼる。

■ 頭髪に関してどんな悩みが多い？

Answer→20代後半から30代前半の半数以上が「抜け毛が多い」と答える。

■ 女性の育毛剤の使用意識は？

Answer→育毛剤の使用を 考えている17.6% + 使用中6.5% = 24.1%

■ いつから育毛剤を使っているのか？

Answer→気になりだした直後から。40歳以降は髪のボリューム意識。

■ 育毛剤は、何を基準で選ぶのか？

Answer→重視するポイントは、価格に続いて口コミでの評判、肌へのやさしさ。

■ 育毛剤に1か月あたりいくらかける？

Answer→約半数が2000円未満。

■ 薄毛ケアはどんなケアをしているのか？

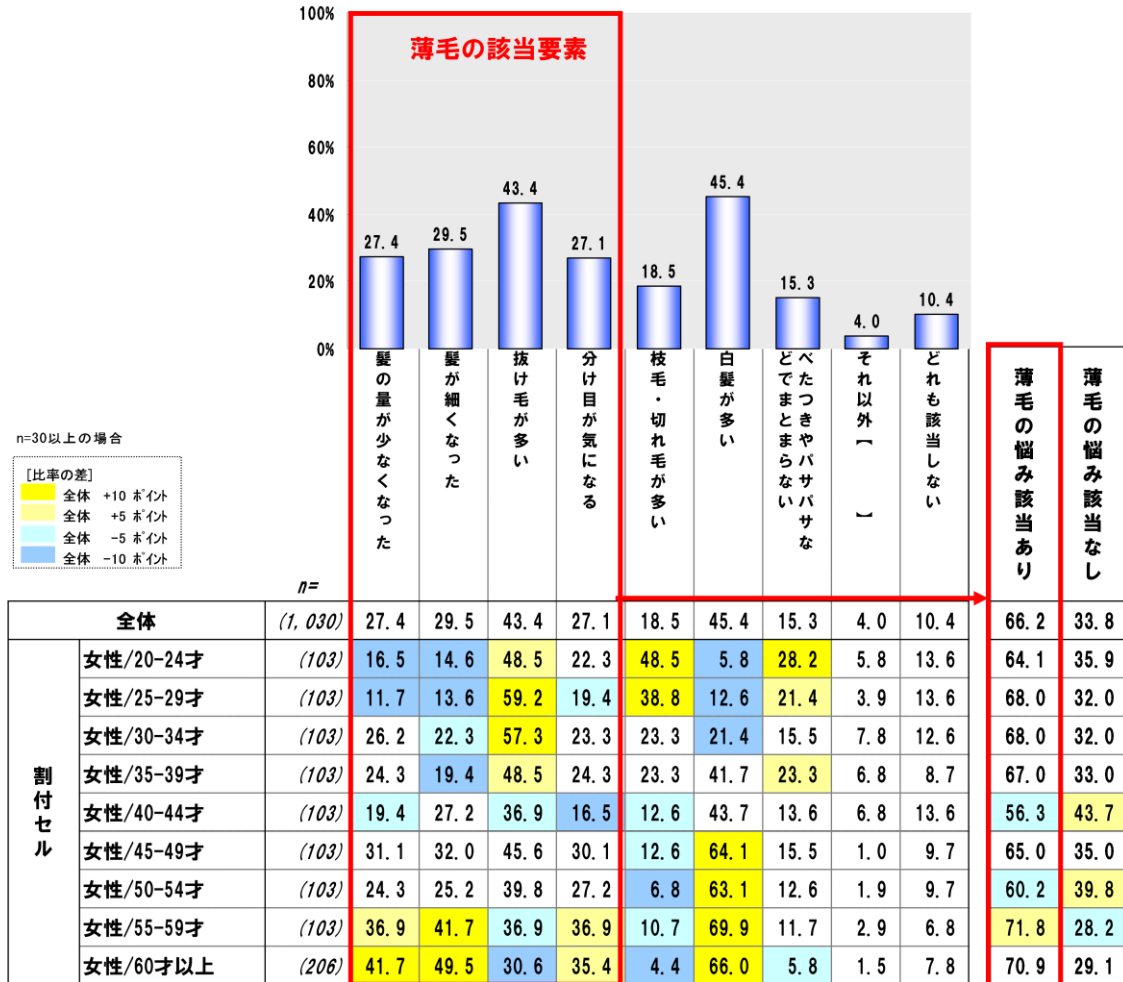
Answer→手による頭皮マッサージが1位、育毛剤の使用は5位。

1. 頭髪に関して感じている悩み

【結論】

25～34歳は、「抜け毛が多い」といった悩みを持つ割合が半数以上。

55歳以上は「細くなった」「量が少なくなった」などのボリュームに関する悩みが多い。



頭髪に関する悩みのなかで、薄毛の該当要素として多いのが「抜け毛が多い」で、30歳前後の女性に特に多い。年齢の上昇にともない、「髪が細くなった」「髪量が少なくなった」「分け目が気になる」を挙げるケースが多くなっている。

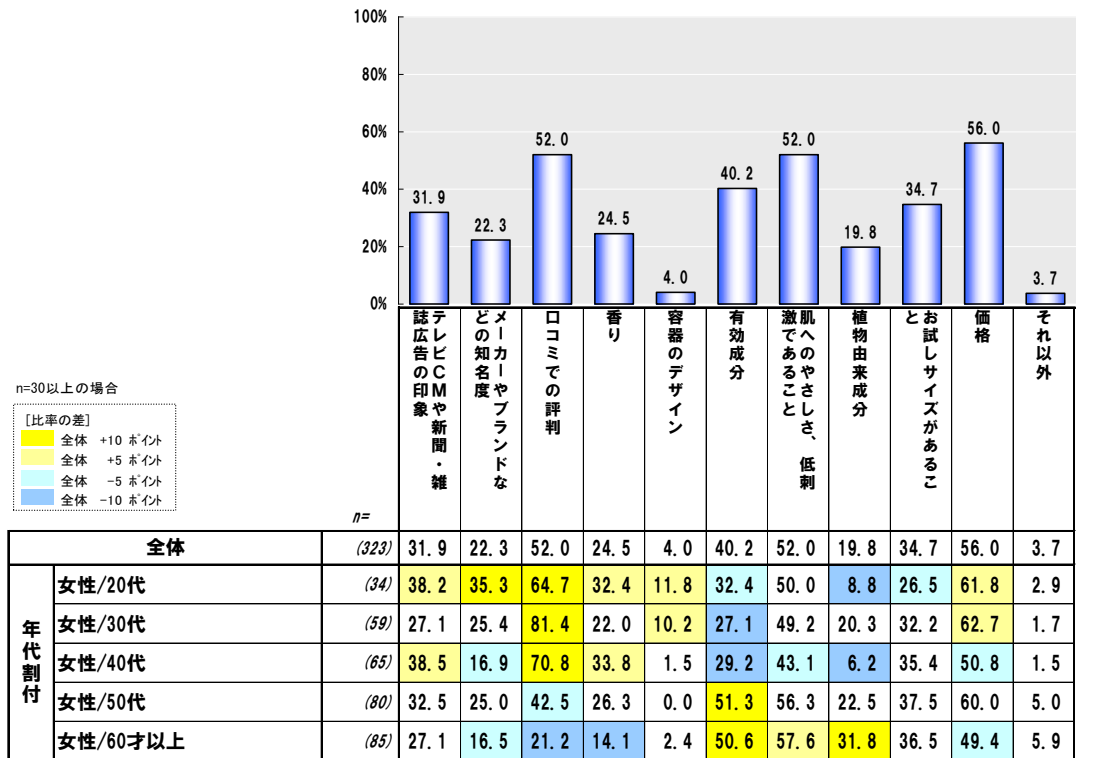
これらの薄毛の悩みに該当ありの割合は55歳以上で7割を構成するが、20～30代も抜け毛を中心とした悩みが多いことが確認された。

2. 育毛剤の選択基準

育毛剤を選ぶ際に重視するポイントをお選びください。(いくつかでも)

【結論】

重視する点は価格に続いて、肌へのやさしさ、低刺激であること。口コミでの評価で同率2位。



育毛剤選択時に重視するポイントは

- ・価格が56.0%で第一位
- ・口コミでの評判 と肌へのやさしさ、低刺激であることが同率52.0%で第二位にあがった。

年代別にみると、

20～40代にかけては口コミでの評判が特に重視されていることがわかる。かわって50代以上では有効成分や低刺激であることを他の年代よりも重視する傾向が強い。60歳以上では価格よりも重視されているポイント。

育毛剤の使用状況・使用意向別にみると、

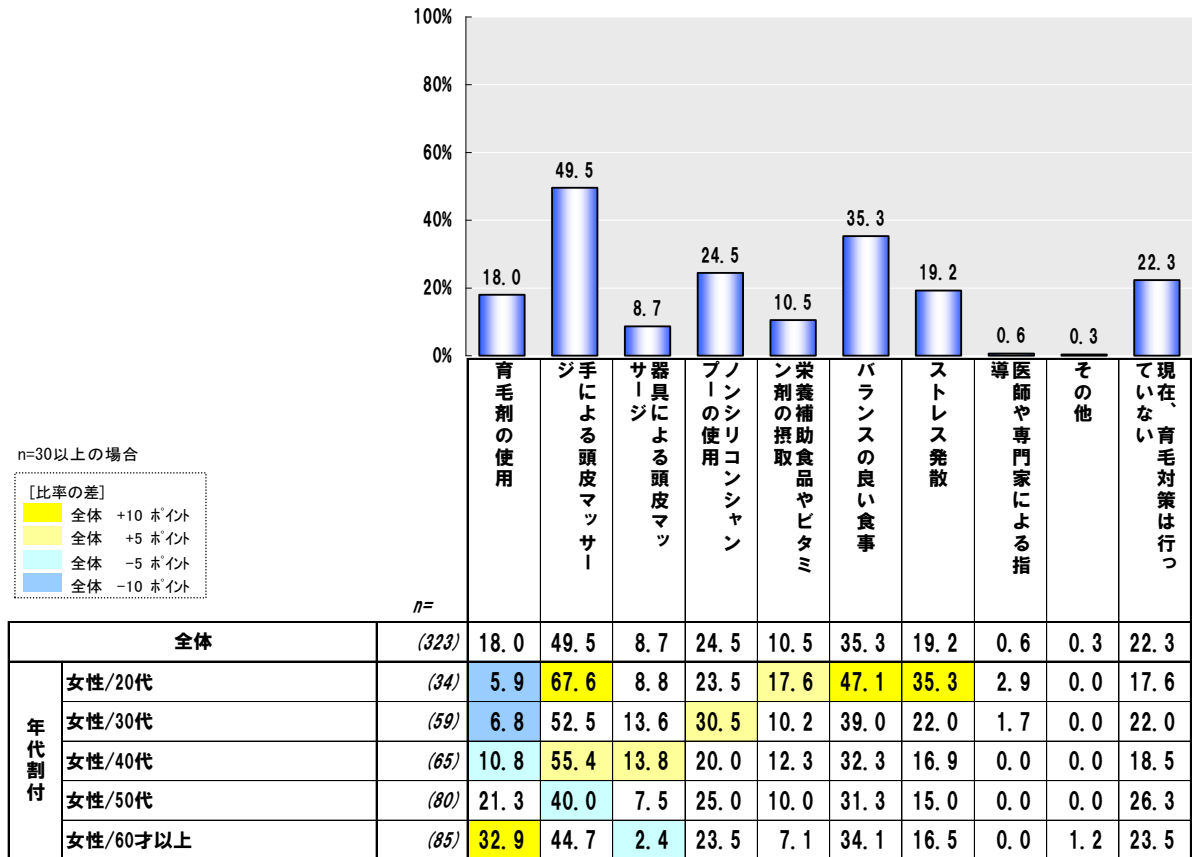
未使用層は口コミでの評判、中止層あるいは使用中の層には口コミよりも低刺激や有効成分が重視する傾向にある。

3. 育毛や薄毛対策で行っていること

〔育毛剤使用意向のある+使用経験のある回答者への限定質問〕

【結論】

手による頭皮マッサージ、約半数が実践中。育毛剤の使用は 18.0%



育毛や薄毛対策で行っていることでは、手による頭皮マッサージを行っていることが各年代に共通してみられた。年代別にみると、手による頭皮マッサージ、バランスの良い食事、ストレス発散は20代で多く見られる取り組み。60歳以上では手による頭皮マッサージに次いで育毛剤の使用が第二位となった。

育毛剤の使用については年齢による取り組み方に差があり、20～30代では10%以下にとどまる。

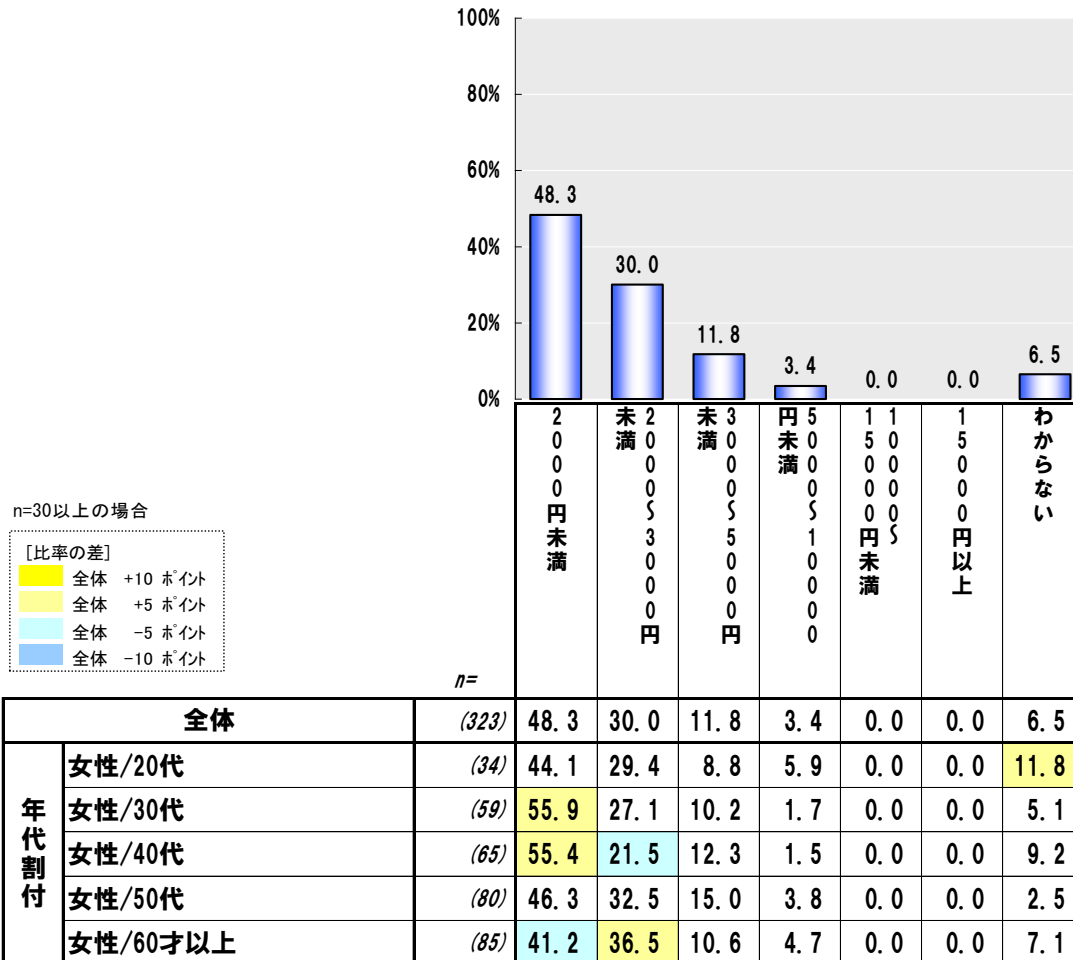
育毛剤の使用経験・使用意向別にみると、現在使用している層では手による頭皮マッサージも多く行われている。

4. 育毛剤の購入費用について

〔育毛剤使用意向のある＋使用経験のある回答者への限定質問〕

【結論】

購入費用は 2000 円未満 (48.3%)—低価格志向を反映



育毛剤の購入費用としては 2000 円未満の回答が最も多く半数近くを構成。

10000 円以上の金額帯の回答は「なし」で、全体的に低価格志向の強さが伺える。年代別にも、各年代に共通して 2000 円未満の金額帯が最も多く選ばれている。

育毛剤の使用状況・使用意向別にみた場合も同様の傾向にあるが、現在使用しているグループでは 3000～5000 円未満や 5000～10000 円未満の金額帯を選ぶ回答がみられた。

□ お客様からのお問い合わせ先

ハーバー研究所 フリーダイヤル 0120-16-8080 www.haba.co.jp/
(いつもハーバー)